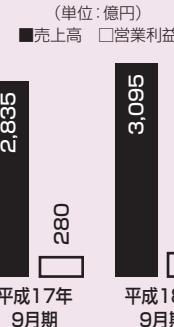


Review of Operations

情報機器事業

MFP分野では、カラーMFPの販売が欧州市場を中心に好調に推移。プリンタ分野では、欧米市場でのカラープリンタの価格競争が引き続き厳しい状況。事業全体では、MFP分野が牽引し売上は前年同期比9%の増収、営業利益は22%の増益。

- カラーMFP：平成17年7月に発売開始した「bizhub C250」が欧州市場中心に大きく販売を伸ばす。また、平成18年5月に「bizhub C300/C352」の2機種を投入するなど、中高速領域の商品ラインアップを強化。カラーMFPの販売台数は前年同期比55%増。
- 高速MFP：平成18年9月に、プロダクションプリント市場をターゲットとした高速カラーMFP「bizhub PRO C6500」を発売開始。同機を含め、カラー機2機種、モノクロ機2機種のラインアップ構成で、国内外の販売を強化。
- カラープリンタ：「magicolor（マジカラー）5400」シリーズ、「magicolor 7400」シリーズなど、中高速セグメントでのタンデムプリンタに重点をおいた販売方針へ転換し、採算の改善に取り組む。



オプト事業

ディスプレイ分野ではTACフィルムが、メモリー分野ではガラス製ハードディスク基板が好調に推移し、事業全体で売上は前年同期比31%増収、営業利益は35%の増益。

＜ディスプレイ分野＞

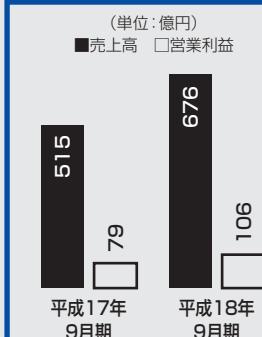
- TACフィルム：生産能力を増強し、販売数量は前年同期比約5割増。

＜メモリー分野＞

- 光ピックアップレンズ：現行のCD、DVD用ピックアップレンズは減産調整が長引き伸び悩む。次世代DVDのBD（ブルーレイ）およびHD-DVD向けの出荷開始。
- ガラス製ハードディスク基板：パソコンやデジタル家電用に需要拡大し、販売数量は前年同期比約4割増。

＜画像入出力コンポーネント分野＞

- レンズユニット事業：デジタルカメラ用は競争激化で伸び悩む。
- カメラ付携帯電話用コンポーネント：1.3メガから2メガ・3メガクラスの高画素対応製品への需要が高まり、販売数量は前年同期比ほぼ倍増。

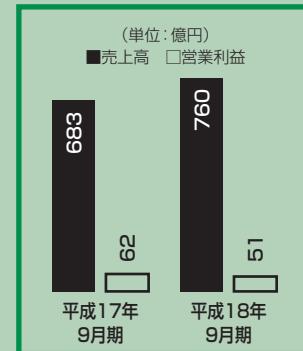




メディカル&グラフィック事業

医療分野を中心に販売は好調に推移し、売上は前年同期比11%の増収。銀価格の高騰や薬価改定の影響もあり、営業利益は18%の減益。

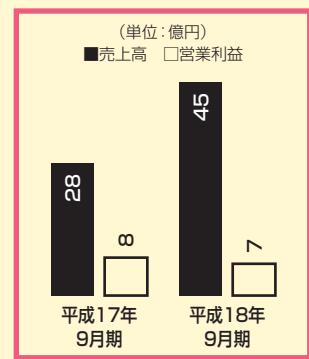
- ・入出力機器は、海外販売が好調に推移したが、国内販売が伸び悩む。医用フィルムは、国内外とも好調に推移。
- ・印刷プロセスのデジタル化に伴いフィルム需要は減少傾向にある中、海外販売を強化し前年並みの販売数量を確保。



その他

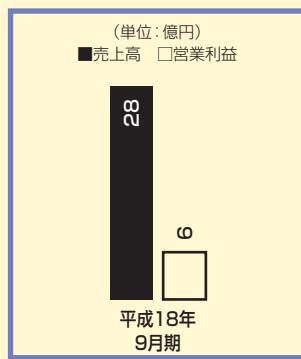
計測機器事業

フラットパネルディスプレイ関連の設備投資需要に支えられ、色計測分野での販売が好調に推移。平成18年度より独立させた欧米の販売会社の売上が、連結業績に加わる。



産業用インクジェットプリンタ事業

平成17年1月に事業会社を設立して、高精細プリンタヘッド、布地用大判インクジェットプリンタ、およびインクの販売を本格展開。新規納入先も獲得し、売上・利益とも順調に推移。



フォトイメージング事業

カラー印画紙を生産する小田原サイトを平成18年10月1日付で大日本印刷株式会社へ譲渡するなど、平成19年9月末までにすべての事業を終了する計画に沿って、国内外の事業所において事業終了を進める。

